

自然発火にご注意を！！

函館市で、塗料を塗装したときに使用したウエスが自然発火した火災が発生しました。

塗料の自然発火とは？

亜麻仁油（アマニ油）等を主成分とする植物油は、空気中の酸素と反応し、微量の熱が発生します。亜麻仁油等を成分とする塗料が染み込んだウエスを、丸めたり積み重ねたりして放置すると、微量の熱が逃げ場を失い、蓄熱され、発火する危険性があります。

（容器に入った塗料や、木材に塗った塗料は蓄熱しないため発火することはありません。）



本当に自然発火するの？燃焼実験を実施！

函館市消防本部において、亜麻仁油を成分とする塗料が染み込んだウエスを積み重ねて、経過を観察したところ、実際に自然発火することを確認しています。



自然発火を起こさないためには？

亜麻仁油等を成分とする塗料が染み込んだウエスや新聞紙を、燃えやすい生活ごみと一緒にゴミ箱に捨てたり、ゴミ袋に入れて放置することも、上記と同様に自然発火の危険性があります。

塗装に使用した布や紙等は、使用后、直ぐに水に浸してから処分してください。（各塗料の容器に記載されている注意事項をよく守って使用願います。）



お問い合わせ

函館市消防本部予防課調査係

TEL: 0138-22-2136

FAX: 0138-22-1934

e-mail: fd-tyousa@city.hakodate.hokkaido.jp